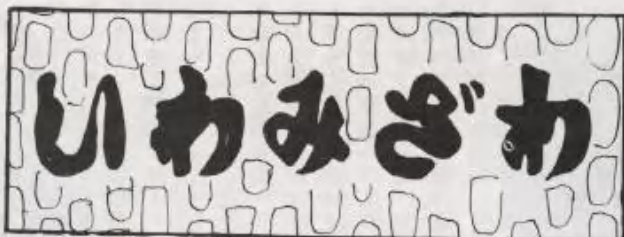


月間目標

- 10月 火災予防
- 11月 冬季態勢の確立
- 12月 服務規律刷新



発行所 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
 O B 会
 岩見沢市日の出1-3
 印刷所 北海道立福祉村
 空知郡栗沢町字最上350番地
 電話(0126)45-2721

岩見沢駐屯地創立34周年 第12施設群創隊12周年

盛会に終る

精強な施設科部隊としての
 誓いも新たに

誓いも新たに



岩見沢駐屯地へ司令 一等陸佐 久留島昭彦)において、九月二十日、自衛隊協力会岩見沢隊区連合会へ会長 笠原喜平治氏)協賛の下、駐屯地創立三十四周年及び第十二施設群創隊十二周年の記念行事が行なわれた。

この日は、多数の来賓を迎え、隊員家族及び一般市民に駐屯地を開放して記念式典、祝賀会その他各種のアトラクションが行なわれ、約一八〇〇名の市民が来隊し、隊員と共に記念行事を楽しんだ。

式典は、午前十時に開始され、巡閲、司令の式辞、来賓のお祝いの言葉、協力会関係者への感謝状の贈呈と続き、最後に各部隊の一糸乱れぬ正々堂々のパレードをもって終了した。

その後は、他部隊からの支援を受けた、七四式戦車、一五五mm自走榴弾砲、自走架橋、短SAM、ホーク等の武器

器展示並びにヘリボンによるレンジャー部隊の潜入訓練及び第七偵察隊によるオートバイの偵察訓練が展示され、観客に感銘を与えた。

午後からは、第十一音楽隊によるドリル、栗沢太鼓の演奏に続いて、各中隊毎のユニークな仮装大会等の目新しい催し、また、各中隊自慢の野外模擬売店、美術展、陶芸教室、戦車試乗、花ジープ試乗、陸曹会主催のお化け屋敷、光線銃による体験射撃、ミニ制服着用による記念撮影会等趣向をこらした多彩な催しに、訪れた市民も隊員と一緒に楽しんで楽しい一日を過ごした。

なかでも、本年始めて行なわれたお化け屋敷及び戦車試乗は、大人にも子供にも人気の的となり、順番待ちの長い行列ができ、遊び疲れた子供も別れを惜しむほどで、市民と隊員の交流を深める上で、大きな成果があった。

なお、この記念行事については読売新聞、北海道新聞、道央ジャーナル等に報道され、広報に一役かった。



なお、感謝状授賞の方々は次のとおり。

- 岩見沢自衛隊協力会地区理事としての功績
 - ☆ 松山 清氏
 - ☆ 内田 吉重氏
 - ☆ 吉田 良吉氏
- 三笠市自衛隊協力会地区理事としての功績
 - ☆ 林 吉郎氏
- 栗沢町自衛隊協力会地区理事としての功績
 - ☆ 伊藤 長司氏
- 北村自衛隊協力会地区監事としての功績
 - ☆ 戸田 勇氏
- 自衛隊父兄会栗沢支部長としての功績
 - ☆ 清水 教雄氏
- 委託売店理容部として隊員の福利厚生に寄与された功績
 - ☆ 佐々木 敏幸氏

岩見沢駐屯地司令式辞

一等陸佐 久留島昭彦



久留島 1 佐

本日ここに多数の御来賓の御臨席を賜り、また、沢山の市民の皆様方のおいでをいただき、自衛隊協力会岩見沢地区連合会の御協賛を得て、岩見沢駐屯地創立三十四周年及び第十二施設群創設十二周年の記念式典をかくも盛大に挙行できますことは、私共隊員一同の深く喜びとするところであります。

さて、岩見沢駐屯地は、昭和二十八年に金沢から移駐した部隊により第一〇二施設大隊が編成されて開設されたものであります。当時はこの日の出台も、クマザサに覆われた荒地にすぎなかつたと聞いておりますが、じ後、第一〇二施設大隊は昭和五十一年に第十二施設群として改編され、我が国防衛の第一線部隊として日夜訓練を重ね、あるいは災害派遣、部外工事等を通じて地域社会の発展の一端を担い、諸先輩の努力と地域社会の皆様方の御支援により今日の姿に発展して参りました。

お除様で、今では皆様の深い御理解とあたたかい御支援をいただき、地域社会と一体となった素晴らしい環境の中で勤務できますことを大変ありがたく存じております。これは単に私共が心おきなく訓練に専念できるというだけでなく、我が国の防衛の基本にかかわる大切なことなのであります。

なぜかと申しますと、国の防衛というものは、昔は「百年兵を養うは是れ一日がためなり」といわれたように、外敵が攻めてきた場合に軍隊でこれを撃退する考え方が基本でありましたが、今では戦争の規模・様相の拡大と悲惨さを踏まえて、この考え方が変わってきております。

その一つには、攻めてきた敵に対処するのではなく敵が攻めてこないようにすることが基本になったということと、もう一つは、軍隊あるいは自衛隊だけで国防を全うすることは不可能であり、いざという場合には国民も一体となつて国を守らなければならなくなつたということであり、即ち、国民全般のあくまで侵略を許さないという強い国防意識と、この裏付けの下に平素から精強な部隊を維持して、

「もし国を犯す者があればただではすまさないぞ」ということを内外に明らかにしておくことが必要なのであります。したがって、この岩見沢駐屯地のように、地域社会と自衛隊がお互いの信頼関係に結ばれて、共栄共存の態勢にあることが侵略を未然に防止するうえで極めて大切な条件なのであります。

私は、駐屯地開設以来三十四年にわたり、このような駐屯地を築きあげてこられた諸先輩をはじめとする隊員一人一人と、それを支えてこられた御家族の皆様に対し、そしてこれらを可能にしていた地域社会の皆様に対し深く敬意を表するものであります。この素晴らしい財産を受けついで私共は、これを更に発展させて後世に伝える責任



があります。昨今の国際情勢は依然としてアメリカとソ連を中心とする東西両陣営の対立を基調として推移しております。軍事的にはINF全面削減の合意がなされたものの、依然として戦略核戦力の均衡を背景として、ソ連の軍事力の増強とこれに対する米国の兵力前方展開という構図には変化がありません。我が国周辺においては極東ソ連軍の増強、特に我が北方領土への配備の強化、各種大陸演習の実施等の動きが見られ、米国はこれに対してオホーツク海近辺における軍事プレゼンスの強化等北西太平洋を重視する戦略を展開しつつあり、今この瞬間にも相互にしのぎを削るかけひきが行なわれております。

北日本周辺が米ソの軍事行動の接点としてこのように注目されるようになったのは、潜水艦搭載戦略核ミサイルの進歩により、オホーツク海からアメリカ本土全域をその射程でカバーできるようになったことが、その原因の一つであります。ソ連にとって、オホーツク海を聖域として確保しておけばアメリカに対して核攻撃の切り札を持つことになり、核戦争において極めて優位に立つことになり、反対に、アメリカにとってはこれを許す訳にはいかなかったのです。

このため、米ソの世界戦略の中で、オホーツク海を確保するための後方連絡線となる宗谷、津軽海峡を含む北海道周辺地域の戦略的価値が極めて重要になってきた訳であります。したがって、もし、我々の防衛態勢に手ぬかりがあったならば、万一米ソの間に戦端が開かれるような場合に、我が国の意志や都合あるいは日米安保条約の有無等にかかわらず、これらの国が重要な海峡の通航の自由を確保しようとして我が国を侵略しようとするかも知れません。反対に、もし、我が国がいかなる国の侵略も断じて許さないという明白な国家意志とその証明としての国民と、一体となった有効な防衛力を備えているならば、我が国に対する侵略を未然に防止することは勿論、ひいては東西間の戦争そのものをも抑止し、世界平和に大きく貢献できるのです。そのためにも、我々は諸先輩の伝統を受けつぎ、我が国防衛の第一線部隊として日夜訓練に励み、我が国に対する利不尽な侵略を未然に防止し、万一侵略を受けた時には速やかにこれを排除できるような、精強な部隊の練成に努力する決意を新たにしますのであります。

自衛隊は、今、我が国を取り巻くこのような戦略環境の変化を踏まえて、あるいは旧軍体験者から戦後生れへの世代交代の時期を迎え、また、

価値感の多様化した現代社会の世相を反映して、様々な面で曲がり角に来ており新たな方向に向かって新しい一歩を踏み出そうとしております。どうか皆様、今後とも、自らの国を守るのには単に自衛隊だけではなく国民一人一人の意志にかかわっているということを踏まえて、自衛隊に対する真の御理解を賜り、この様な自衛隊の歩みを見守っていただきまますようお願い申し上げます。

最後になりましたが本日は御多用中にもかかわらず、このように沢山の皆様方の御来場をいただきまして本当にありがとうございます。重ねて御礼申し上げ式辞と致します。

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長： 三谷 栄 一
TEL：0126-22-3445

第十一師団長 小田原 昭陸将 岩見沢駐屯地を初度視察



隊内巡視の小田原陸将

所定の時刻に到着された第十一師団長は群長の状況報告を受けられた後、隊内を巡視された。

岩見沢駐屯地、第十二施設群（群長久留鳥一佐）は八月二十七日、第十一師団長（小田原陸将）の初度視察の榮に欲した。

この間岩見沢市長国兼孝治氏、岩見沢協力会隊区連合会長笠原喜平治氏の表敬訪問を受けられ、両氏との会食が行なわれ、また、岩見沢駐屯地名物の「日の出黨」に立ち寄られた師団長は、陶芸部長（坂田准尉）の説明に興味を示され、絵皿に筆を取り「正気堂々」と銘筆され腕きあがるのを心待ちに岩見沢駐屯地を後にされた。

第十二施設群 団長訓練検閲 天塩川渡河任務完遂



三施設団長（岡崎一佐）の訓練検閲を受閲した。団長検閲の開始に当たり、群長（久留鳥一佐）は要望事項として、

① 作戦上の要求の最大限の達成を追求

② 施設技術に遅れをとるな

③ 状況に応ずる戦闘基礎動作の確行の三項目を掲げ、

（検閲は部隊錬成の絶好の場。どん欲に自らを鍛えよ）と訓示された。群長の出発命令と共に、各中隊は一路天塩に向かい前進を開始。天塩に近づくと雨がひどく降り出し、施設作業の困難さをうかがわせた。

渡河作業地域は湿地帯で地耐力がなく、車が進入すればたちまち「カメの子」……隊員の足でさえ二十〜三十cm沈むところもあり、機械力、資材、隊力を駆使しての困難な作業であった。

しかし、隊員達は、日頃の訓練の成果を踏まえ、創意をこらし、施設科魂を発揮し、荒天下の困難な状況をよく克服し、一〇五施設器材隊の浮橋中隊と協同して、兩岸一二〇mにわたる湿地道、設備の構築及び自走浮橋による全通架橋を含む天塩川の渡河作業を完成し戦車等を対岸に渡して所定の任務を達成した。

その結果、第十二施設群は「概ね優良」の成果を得て、訓練検閲を終了した。

群持続走

第三〇一地区施設隊 V2 達成

群では十月二日、秋晴れの下、隊員個々の持久力の向上と、群全体底辺の拡大を目的に群持続走競技会を実施した。競技は約五、二組を年代別に走り、中隊隊員の平均タイムにより順位を競ったが、年間を通じて走り続けている第三〇一地区施設隊が予想通りの実力を発揮し、二位以下を大きくリードして昨年に引き続き二年連続優勝を達成した。

また、個人の部（二十歳代）では第三三七施設中隊の上野二士は、九月五日付で中隊に配置されたばかりの初参加にもかかわらず、十八分〇三秒の好タイムでゴールし、旧隊員達をおどろかせた。

成績は次のとおり

中隊対抗の部
優勝 第三〇一地区施設隊
準優勝 第三三六施設中隊
第三位 第三三五施設中隊

第二師団長 志方 俊之陸将 十一年ぶりの来隊

八月一日第二師団長として着任された志方陸将は、八月二十八日岩見沢駐屯地を十一年振りに訪問された。

志方師団長には、昭和四十九年から五十一年までの二年間、第十二施設群の前身である第一〇二施設大隊の第十二代大隊長兼岩見沢駐屯地司令として勤務された思い出多い駐屯地であり、駐屯地を訪問された志方師団長は駐屯地内及び大隊長在職間に部外工事



銘筆される志方陸将

として実施された岩見沢と志

文間の道路を視察され、十一年前の当時を偲ばれ感嘆無量の御様子でした。また、同夜市内で行なわれた有志による懇親会には、国兼孝治岩見沢市長、笠原喜平治自衛隊協力量隊区連合会会長をはじめ、岩見沢市の旧知の方々、隊友会員及び駐屯地隊員等多数の人達が参加して懐かしい思い出話に楽しい一刻を過ごされました。志方師団長の訪問を心から歓迎致しました。

時代を一步リードした
中庭のあるモデル住宅
柏崎建築設計事務所
建築請負 柏崎建設株式会社
代表取締役 **柏崎 昭朗**
会社 岩見沢市11条西1丁目
電話(代)2129番
木工場 岩見沢市東山町
電話(代)1725番

北海道電力株指定・ナショナル電工チェーン店
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品
有限会社 **千葉電気商会**
〒068 岩見沢市東山町22番地71
電話 (0126) 24-4567番

近江建設株式会社
特定土木建設許可・一級建築士事務所
本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026
支社 三笠市唐松町1丁目374 電話 2-3179
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
営業所 三笠市幌内本沢町 電話 2-5403

3CT検閲に参加して



第337施設中隊 河原 2 尉

をされた方である。

中隊の陸費は半数以上が、旧知しており「相変わらずおやじっほいな」と懐かしさの感を漏らす者も……。

師団長も知ってか帰り際に中隊の傍を通られ「おっ！岩見沢か頭張れ！」と励ましの一声をかけられた。人の心のつながりの妙というか、一様に隊員の意気の上がるのを感じた。検閲課目は一時間的余裕のない状況下での防御中隊は、名寄り上富良野の夜間車両行進に引き続き、陣前から

陣内にわたり地雷原、対T K崖の構成、道路阻絶の障害を構成し、CTの防御を積極的

に支援した。

中でも二日目の夕方、第一線陣地の突破に乗じた敵のHh攻撃に対する中隊の行動は、特に迅速果敢であった。

Hhは、中隊集結地の約一km東、CT長の命令一下、中隊本部を主力とする一個分隊(十)は、つるはしと地雷を持

って、いち早く敵の接近経路を閉塞し、戦車中隊と協同して、これを撃破したのである。

まさに、師団長の意図である「見敵必戦」の実践であった。任務を完遂し講評に臨む

隊員の顔は一樣に自信と誇りが浮かんでいた。師団長から又、竹田CT長から「良くや

ってくれたありがとう」との言葉をいただき隊員の苦勞も報われ、中隊の意気を大いに上げた協同訓練であった。

自衛隊員が心掛けること



星加 2 佐

昭和二十九年保安隊発足から自衛隊に変わり、国民に理解を得る自衛隊としての努力が続けられてきました。発足当初は援農(農繁期の農家の手伝い)が多かったようですが、災害派遣、部外工事及び広報活動等をおして多くの成果をあげてきました。

北海道は歴史が新しく開拓民の子孫が多いため解放的であり、自衛隊を容易に受け入れて頂いた面があります。

しかしながら土地の多くの人々は自衛隊に好感を持っておられても、自衛隊をどこまで理解されているかを考えた時疑問が残ります。自衛隊員に知人がいても、また町内会で付き合があっても、有事に北海道はどのように守られるのかを深く考えた人は少ないかと思えます。

美しい山河、そして自然に恵まれた大地、北海道を子孫代々まで残すことを考える時、私達自衛隊員は勤務に精励するかわら、町内活動及び地域の各種行事に積極的に参加協力を行ない地域住民として町内会の人達と、共に防衛を考えて行くように努めることが大切と考えます。

を進めている「いわみざわ公園」は道都圏のレジャーゾーンをめざし、大型遊具の設置した「子供の森」又市民の憩いの場として「市民の森」では「緑のふるさと」「都市緑化植物園」等の各整備事業を取り入れ、大型植物展示室、都市緑化資料展示室を配した緑の相談所、樹木園等も整備されて二十一世紀へ向けての躍進が展望されます。

(市政ミニガイドより)

岩見沢駐屯地 諸検査で「優秀」な成果



第十二施設群は、十月十九日から二十日の二日間にわた

り、第三施設団長が行なう昭和六十二年度、物品管理検査、後期保全検査を受検した。

検査官副団長(西村一佐)他、補助官十二名による検査を受け、その成果は物品管理検査で「優」保全検査で「優良」の評価を得た。

また引き続き岩見沢駐屯地業務隊が二十一日から二十二日の間後期保全検査を受検したがその成果は「優良」の評価を得る等、諸検査共に優秀な成果を収めた。

いわみざわシリーズ (#10)

岩見沢の公園

その①

本市の都市計画公園は昭和二十五年に児童公園を決定したのが最初で、引きつづき東山公園、利根別自然公園などが決定され、その後市勢の発展と共に逐次追加変更がされ、現在では五十九ヶ所、二七〇、

二四haが計画決定され都市公園全体としては一四一ヶ所、二八九・九五haになります。

これらの都市公園は、緑豊かな街「いわみざわ」の市民の憩いの場として現しまれていきます。

岩見沢のシンボルとして整備

国をまもる防衛庁職員のための

- ◎家族保障保険
- ◎ニューライフサイクル
- ◎終身保険やすらぎ

協栄生命

担当：田村純子、高橋ひさ子

保障から年金まであなたのコンサルタントとしてお役に立ちます



朝日生命

岩見沢営業所 ☎22-0207

担当 柳生 瑞子

- 年金と医療保険のバイオニア
- 生涯の保障に終身保険(明朗)

日々の暮しに安心を

東邦生命

担当：深沢 隆子 (内327)

祭りの支援 市民と共に



お祭りを盛り上げた隊員たち

第十二施設群は、八月一日（二日）にわたり岩見沢市商工会主催による夏祭りに、また九月十四日（十六日）の間岩見沢青年会議所主催百餅祭まつりの支援参加をした。夏祭り参加支援は例年行っているが、本年も群長（久留島一佐）の号令により第十一音楽隊の支援を受け、演奏パレード及び踊りパレード、綱引き大会等に参加し夏祭りを盛り上げた。一日は第十一音楽隊支援の演奏パレードをはじめ、踊りパレードが盛大に行なわれたが、踊りパレード初参加の新隊員は、隊友会岩見沢支部（支部長岡田徹也氏）以下役員による激励に感激した様子でハッスルし市民と共に楽しいひと時を過ごしていた。二日には、綱引き大会が行なわれ、各施設中隊の有志（五コ



激励にかけつけた隊友会の役員

チーム）が参加し、奮闘したが、結果は第三三五施設中隊がBグループで準優勝した。また九月の秋祭りでは、隊員四十名が構みこしをかつき市中をわり歩き。ふるさと百餅祭では、つきあげた餅による「しるこ」作りを支援し、地域住民との一体化に醸成を図り一層の交流を深めた祭り支援であった。なお、ふるさと百餅祭は市民長寿一〇〇年と岩見沢市の発展を祈る目的で、岩見沢市の特色を生かし、意義ある九月十五日（敬老の日）に行なうもので、餅つきは、直径二メートル、重さ二トンの巨大ウスに二〇〇キロのキネを使って百キロのもちを三十分でつきあげ、約一〇〇〇名分との事で世界一の餅つきといわれています。



岩見沢駐屯地出発の田中（元）士長

宗谷から京都まで一、七二〇km 田中（元）士長 徒歩帰郷

岩見沢駐屯地第十二施設群第三三五施設中隊に所属していた田中真弥（元）陸士長（昭和六十年五月二十八日入隊）は、中隊の施設手として活躍中であったが、家業を自然農法に大改造することが、予定より二年早まり、これを機に

農業の後継をする事となり、昭和六十二年九月三十日付をもってやむなく退職する事になった。退職をするにあたり「自分への挑戦」として一念発起、在隊を記念して北海道最北端の宗谷岬から故郷の京都まで徒歩帰郷を決意した。津軽海峡を青函連絡船で渡るほか、宗谷から主として日本海沿いを南下し、京都の実家までの一七二〇キロメートルを四十三日間かけて歩き抜くという計画である。

十月六日、宗谷岬を出発。途中、旅館・民宿・キャンプをしながら三三〇キロメートルを踏破し、十四日夕刻、岩見沢駐屯地に到着し、駐屯地全隊員の大歓迎に多少うれし

がらも大喜びで、今までの疲れも吹き飛んだようすで「二日目の天塩までが一番つらかったが、もう自信がつきました。」と話してくれた。

また、駐屯地司令も「旅はまだ始まったばかり、身体にはくれぐれも気を付けて最後まで頑張ってもらいたい」と激励した。

田中（元）士長は、十六日、駐屯地全隊員が見送るなか意欲いっぱい再出発をし、京都には十一月三十日に到着する予定である。

旅はまだ始まったばかり、道程は長く突発事態等、幾多の困難が予想されるが、この快挙の成功を祈りたい。



優勝の厚生科チーム

岩見沢駐屯地 業務隊 バレーボール大会 厚生科優勝

業務隊はこのほど恒例の各科対抗バレーボール大会を実施した。競技は新ルールを世界に広めようとする九人で六人制ルール（ホールディングは絶対とらない）を提案、戸惑いながらも試合は珍プレーの続出、しだいに熱気を帯び各

科とも優勝が決まる午後の決戦に臨んだ。しかし、午後から小雨が豪雨に変わるも士気は益々高まるばかり、残る試合をこども新ルールを採用、六人でジャンケンし、勝てば二点、十五点で一セット、結局女性選手の大奮闘もあって厚生科が全勝で幕を閉じた。

自動車によるドロボーに注意

伊西・伊東 電話専用電話
011-282-0110
岩見沢警察署 22-2151

お気軽にお電話下さい。
弁当、寿司、鍋物お届けいたします。

ランチタイムサービス
★午前10:30～午後2:00まで

*** 宴会料理 ***
●新年会・クラス会予約承っております。

味の式部
岩見沢市4条西2丁目 ☎23-1892

宝石 創業79年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

株太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126-223353・223354

識別帽子の
御用命は当店で
旗、カップ、記念品

モリタ商会

☎068 岩見沢市4条西8丁目
☎(0126) 23-9820

新鋭 中隊長の紹介

第三三五施設中隊長
一等陸尉 傅法 和美
S二一・四・三(北海道)
本部中隊からの着任



傅法1尉

第三三六施設中隊長
一等陸尉 池田 哲夫
S二四・七・二五(長崎県)
第三一二施設器材中隊からの着任



池田1尉

転入者紹介 (新ファミリー)

☆第十二施設群へ☆

- 三佐 柏 一幸 (南忠庭3第三科長)
- 三佐 五嶋 順一 (南忠庭4第四科長)

☆岩見沢業務隊へ☆

- 一尉 八木 国雄 (真駒内十一通厚生班長)
- 事務官 柴田 実 (真駒内業務隊共済班長)
- 事務官 奥山 武 (釧路業務隊物資係)

☆会計隊へ☆

- 二尉 坂本 幸蔵 (鹿追会計隊契約班長)
- 一曹 中村 直之 (滝川会計隊会計係長)

☆基地通信隊へ☆

- 一曹 竹内 功 (遠軽駐屯地先任陸曹)
- 三曹 阿部 正義 (真駒内駐屯地信伝陸曹)

○第三三五施設中隊

陸曹長 大林 実 (9/17)
(就職先)
継続療養中

自宅
岩見沢市日の出台二丁目
電話(二三)四一八一

○岩見沢駐屯地業務隊

准陸尉 竹本 重幸 (10/14)
(就職先)
中高年令労働者福祉センター

自宅
岩見沢市有明町一番
岩見沢市采町一丁目二八番地
電話(二三)三四二八



おめでたの 三品御夫婦

おめでた 新婚さん

▲三品勝浩(妻)小百合 (8/25)
(やったぜ!満足!)

▲石川信明(妻)君江 (10/25)
(幸福いっぱい!)

▲土橋正志(妻)友子 (10/25)
(明るい家庭を築きます)

結婚して

第三二七会計隊
深町 二曹

「光陰矢の如し」早いもので結婚してはや四ヶ月が過ぎようとしている。当初は職場に限らず、どこにいても冷やかされ放題、又かあちゃんも一緒の職場の為これはもう言葉でいいあらわす事ができません。冷汗たらたらの毎日でした。

しかし、結婚してよかったと思っただ事は、何れともあれ、自由である、それと嫁さんが、自分のおおざっぱな性格を知っている為か、何もしくなくてもやってくれる。(子供がでるころまでだらうけど...)でも今は、おおいに優越感にひたっている。



その反対に悪かった事は...何もしない(書いたら後が怖い為省略!)よく「結婚は人生の墓場なり」といいますが、この最後の二文字を天国にかえて...いやかえてみせて...ちよいと心配になっちゃいましたが、努力して二人で頑張って行きたいと思えます。「結婚してほんとうにいいもんですね」それでは...

こんにちは 赤ちゃん



○山下光喜(長女)葵 (8/14)
(俺にそっくり!)

○斎藤貞広(長女)亜美 (7/24)
(かわいい女の子に!)

○大谷 敦(長男)啓介 (9/14)
(男の子らしくりっぱに)

○前田憲一(長男)将兵 (9/14)
(名前に負けないように)

○木上英輔(長女)あや (10/20)
(やさしく、美人に...)

中国風パブスナック

里



岩見沢市3条西1丁目 ☎23-2533
☎25-0631

サンブラザウェディングプラン

華燭

華式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!

ご両家ご負担 200,000円

★会費お1人様6,500円・人数+200,000円(ご両家ご負担)

豊かな味と憩いの広場

ホテル **サンブラザ**

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

あなたの祝典のステージ



岩見沢 平安閣

岩見沢市5条東2丁目

☎(0126) 23-4581